

2022年5月12日

公益財団法人日本バスケットボール協会
2021年度(7-6月期)第10回理事会 報告

日時:2022年5月12日(木) 14:00~15:50

会場:ー (WEB会議)

【報告内容】

1. 裁定委員会からの答申について
2. 2022年度ユース育成事業の追加について
3. その他、報告事項

以上

1. 裁定委員会からの答申について

裁定委員会から答申のあった下記事案について、以下の通り懲罰を科すことが承認された。

1) U12 クラブのコーチ（対象者氏名等詳細非公表）

< 懲罰内容 >

譴責の処分を科し、併せて研修の受講の義務を課す。

< 懲罰の起算日 >

2022 年 5 月 12 日（理事会決定の日）

< 懲罰の理由 >

本協会倫理規程第 3 条第 1 項(3)「暴力、暴言、ハラスメント、差別、ドーピングおよび八百長等の不適切な行為ならびにスポーツのインテグリティまたはフェアプレーを著しく害する行為」に該当

< 事案の概要 >

所属児童に対する不適切な行為

■懲罰の公表については、JBA公式サイト「懲罰の公表」ページをご参照ください。

>> <http://www.japanbasketball.jp/jba/sanction/>

2. 2022 年度ユース育成事業の追加について

U15 世代の活性化を目的とした育成事業の以下 2 つの事業の追加実施について提案がなされ、承認された。

1) U13 ブロック育成センター事業

【目的】U14 都道府県育成センターの充実向上のため。

【対象】男女U14 都道府県育成コーチ

【方法】1 泊 2 日で指導者講習を実施。指導講習及び指導実習。

【時期】2023 年 1～2 月を予定

【備考】2018 年まで実施していた事業を、指導者講習に目的を変更して再度実施。

2) U14 ブロック別交流活動

【目的】U14 都道府県育成センターの成果発表および指導者講習・交流のため。

【対象】U14 都道府県育成センターメンバー男女各 20 名程度、スタッフ各 3 名程度

【方法】指導者講習・情報交換・合同練習（スクリメージ）を実施。

【時期】2023 年 2～3月を予定

【備考】育成マインドを大切に勝ち負けを目的としない。

ジュニアオールスターを開催していた頃から各ブロックが練習会として実施していたものを、JBA 主導により再構築。

<その他、特記事項>

受益者負担の原則より、参加者にも一定額以下の負担を求める。

3. その他、報告事項

(1) 事業・活動実施ガイドライン第5版について

新たに策定（追加・修正）された「JBA バasketボール事業・活動実施ガイドライン第5版」の内容について報告がなされた。

【主な追記事項】

1. オミクロン株の特徴について
2. 事業活動前健康チェックシートの扱い
3. 事業活動前に有症状がある場合の参加の是非について
4. ワクチン接種について
5. 「濃厚接触が疑わしい者」は、どのようにして事業・活動に参加させるべきか？
6. Q&A 隔離から空けた後、何日間の練習で試合に出場して良いか。
7. スポーツイベント開催・実施の感染防止策等チェックリスト

【主な修正事項】

1. 濃厚接触者の認定について
 - ・濃厚接触者の定義（2022年4月7日現在）
 - ・濃厚接触者判定、特定例の記載
2. 濃厚接触者の隔離期間
 - ・2022年3月16日（3月22日一部変更）資料により、待機期間の短縮あり。
3. その他文言変更

※「JBA バasketボール事業・活動実施ガイドライン第5版」は以下よりご確認ください。

>> http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_5th_20220512.pdf

(2) 登録推進に向けた登録制度の見直しについて

JBS2021に掲げる登録目標数（2024年80万人、2030年100万人）達成に向けて、登録推進に向けた登録制度見直しについて、ブロック別「都道府県協会連絡会」、2022年1月の「全国専務理事連絡会」など都道府県協会（専務理事）と登録推進へ向けて協議を継続しており、その見直し案や今後の方針・スケジュール等について報告がなされた。

以上